

県内初のキッズゾーンが 福岡町に誕生しました

11月13日、能美警察署と合同で「福岡町キッズゾーン」30運用開始式が行われ、地元関係者および福岡保育園園児など約40人が参加しました。

運用開始式では、大きく組園児24名が、「元気いっぱい」の声で交通安全の「みつつのおやくそく」を唱和し、県内初となるキッズゾーンを知らせる標識の除幕式も行いました。



標識の除幕式の様子



園児が「みつつのおやくそく」を唱和しました

キッズゾーンとは？
保育園の園外活動（散歩等）をより安全に行うために、自動車や自転車の運転者等に注意喚起を重点的に行う区域です（能美市が設定）。

ゾーン30とは？
区域（ゾーン）を定めて最高速度30km/hの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路安全対策です（県公安委員会が設定）。

能美市優良建設工事表彰

10月28日、令和2年度能美市優良建設工事表彰式が市役所で開催されました。受賞工事は、いずれも現場条件が厳しい中、優れた技術力により品質を確保された点が評価されました。今回受賞された優良建設工事は次のとおりです。

- (株)吉光組 能美営業所
健康増進施設駐車場整備工事（土木）
- 大同建設(株)
能美東西連絡道路【寺井まちなか工区】道路改良工事（13工区）



受賞者の方々と井出市長（前列）

あたたかな気持ち伝えたい 九谷絵柄のレターセットが完成しました

九谷焼の魅力伝え、能美市の知名度アップを目的として活動する「九谷焼アークセサリー・雑貨商品開発プロジェクト」が手掛ける九谷焼の絵柄を用いた雑貨「with KUTANI」レターセット（一筆箋、封筒と封シールのセット）が完成しました。

既に販売中の九谷焼アークセサリー「Wear KUTANI」の制作に参加する作家のうち今回は5人の作家がレターセットの絵付けに取り組みました。

メールやSNSなどのコミュニケーションツールが主流となりがちなデジタル時代に、またコロナ禍で自粛を心掛ける生活が続いているこのような時だからこそ、書く人も受け取った人も手書きの良さを再認識し、優しい気持ちになれるようなレターセットに仕上げられています。



レターセットは、能美市九谷焼美術館 | 五彩館 | や能美ふるさとミュージアム等で販売しています。問い合わせ（一社）能美市観光物産協会 ☎58-2221 ☎58-2269

KUTANIソムリエナイフ グッド石川ブランド認定・ 一般販売開始を報告

市内九谷焼作家の早助千晴氏が10月28日、市役所を訪れ、自身のワインツールブランド「harutonari」の製品「KUTANIソムリエナイフ」が、将来魅力的なブランドとして成長が期待できる製品を県が認定する「令和2年度グッド石川ブランド」に認定されたことと、一般販売を開始することについて報告しました。

ソムリエナイフとは、ワインオープナーの一種で、コルク栓をスマートにあけるための道具です。持ち手部分に九谷焼を合わせた製品は、「KUTANIソムリエナイフ」が全国初です。

11月1日より、九谷陶芸村内の「ギャラリー」で一般販売されています。



早助さん（左）と井出市長



KUTANI ソムリエナイフ

能美市立寺井中学校 創立70周年記念式典が行われました

11月2日、能美市立寺井中学校創立70周年記念式典が同中学校で執り行われました。

来賓祝辞では、井出市長がノーベル化学賞を受賞された吉野彰氏の講演内容にふれ「新たな開発でさらに世の中が変わる時代が訪れる。今学んでいる寺井中学校生も、この大きく変貌する世の中を生きていかなければならない」と生徒に力強いエールを送りました。

同窓会からは、校訓額、プロジェクト5台、章典棚が寄贈されました。

生徒会長の東一斗さんは「これからもこの良き伝統を守りつつ、日々新しく自分



祝辞を述べる井出市長

たちを進化させ続けたい」と誓いの言葉を述べました。

秋の火災予防運動の一環として 秋季火災防ぎよ訓練を実施しました

11月8日、寺井町会の協力を得て、寺井分室一帯で能美市消防団を中心に火災防ぎよ訓練を実施しました。

訓練は、大規模火災の発生に際し災害応急対策に万全を期すため、根上分団、寺井分団、辰口分団、機能別分団および新たに組織された女性分団、そして寺井町自衛消防団が参加しました。各団は総合的な防ぎよ訓練を実施することで、連携強化と防火思想の高揚を図ることができました。

11月11日、(株)P.A.L.T.A 北陸支社RDC北陸で能美市消防本部が火災防ぎよ訓練を実施しました。訓練は大規模な倉庫火災



11月8日の訓練の様子

に万全を期すため、消火戦術や延焼防止の体制確立、連携技術の向上を目的として行われました。

「KUTANISM/クタニズム」の開催発表会が開かれました

10月23日、根上総合文化会館で、能美市と小松市が共同開催する九谷焼産地の総合芸術祭「KUTANISM/クタニズム」の開催発表会が開かれました。2回目を迎える今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で会場開催を取りやめ、すべてオンラインで楽しんでいただけの「産地のオンラインミュージ



関係者全員で「エイ、エイ、オー」と成功を祈願しました

アム」として開催し、世界に九谷焼と産地の魅力を発信していきます。実行委員長を務める井出市長が、オンラインミュージアムで披露する6種類の情報の内容を紹介し、その後、関係者全員で「エイ、エイ、オー」と拳を突き上げ、2年目の成功を願いました。

クタニズムをフォローしてください♪



クタニズム HP QRコード

オンラインミュージアムは10月24日に公開され、12月20日までの会期中、順次、情報の内容を追加していきます。追加情報は、各種SNSで発信しています。ぜひ、SNSの検索機能で「クタニズム」と検索し、フォローしてください。

消防本部がドローンを導入しました

能美市消防本部が小型無人航空機（ドローン）を導入し、11月17日に市役所本庁舎でお披露目を行いました。

今回のドローンの導入は、最近クマの目撃が多発しており、クマからの被害を防ぐため、また大規模災害時の被災状況調査、土砂災害での現場確認、火災発生時での延焼状況把握や鎮火確認、山間部や水難事故等における要救助者の捜索に使用することを目的としています。



市役所本庁舎正面玄関前で披露目



導入されたドローン

導入したドローンは高い防水性能を備え、飛行時間は従来機の約1.8倍となる最長55分、カメラはズームカメラや広角カメラ、赤外線カメラを搭載し自動追尾機能を有しており、遠くを見通せるほか、要救助者等の体温や炎も感知ができます。また、リアルタイムでの画像伝送、スピーカーを搭載し避難誘導をすることも可能です。今後はドローンの機動力を生かし、安全安心のまちづくりに一層努めてまいります。

石子町が可搬消防ポンプを更新

石子町会はこれまで使用していた可搬消防ポンプの吸水量の減少や機能の低下を解消するため、令和2年度コミュニティ助成事業で可搬消防ポンプや吸水管を更新しました。可搬消防ポンプの更新により、迅速で効率の良い消火活動や近年全国で多く発生している洪水時の排水に力を発揮し、住民の安全・安心に寄与することができます。



更新された可搬消防ポンプ

この事業は宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの助成により行われているものです。

中野航太郎さんのペン画を子育て支援センターに設置

色覚障害と発達障害がある中野航太郎さんのペン画を、能美市ふれあいプラザ内にある子育て支援センターおよび子ども発達支援センターの玄関口に設置しました。

中野さんは「自分も関わりのあった施設で展示されることになり光栄です」と話していました。市ではこの展示を通して、障がい者個性として捉えている中野さんを応援するとともに、子育てに奮闘する親の励みに繋げていきます。



中野さん（左）と井出市長

中野さんの作品は、「ぼくらの街フェス」能美（本紙24ページ）でも12月12日（土）、13日（日）に展示されます。

職員研修会を実施

10月28日、29日にSDGs職員研修会を行いました。28日は能美市SDGs推進本部を立ち上げるにあたり、幹部職員との研修として、九州大学都市研究センター長 馬奈木俊介主幹教授による「SDGsが地域に果たす役割」と題して講演していただきました。そして、29日は職員20人が『地方創生SDGsカードゲーム』を通して、SDGsの目標達成には市民や企業、NPOなど様々な関係者と協力することが重要であることを学びました。



29日の職員研修会の様子

馬奈木主幹教授

能美市のSDGsの取り組みを紹介するコーナー



世界の
ために
エス！エス！エスディーゼス
SDGs
知ることを
すること。

第3回 能美市SDGs推進本部を立ち上げました！ の巻

能美市SDGs推進本部会議を開催

11月17日、第1回能美市SDGs推進本部会議を開催しました。能美市SDGs推進本部は、市長が本部長に、副市長、教育長が副本部長に、全部局長が部員となり、部局横断的にSDGs未来都市として「暮らしやすさを日本一、実感できるまち」づくりに取り組んでまいります。



SDGs推進本部長（井出市長）のあいさつ